



第39回九都県市合同

防災訓練

(平成30年度川崎市総合防災訓練)

平成30年9月1日(土) 於：川崎区東扇島 他



会場と訓練項目

訓練ごとの狙いや内容に応じて、川崎区の東扇島を中心に、複数の会場で実施します。

病院 会場

市立川崎病院 他

- H-1 災害時病院対応訓練
- H-2 病院間負傷者搬送訓練
- H-3 災害時石油供給訓練

多数遺体取扱訓練 会場

カルッツかわさき

- ※9月6日(木)実施
- I-1 多数遺体取扱訓練

臨海部事業所 会場

東亜石油株式会社京浜製油所

- G-1 海上避難訓練(防災浮き桟橋)
- G-2 情報収集訓練
- G-3 海上訓練
- G-4 事業所内消火訓練
- G-5 負傷者応急搬送訓練

東公園 会場

西側グラウンド

- B-1 災害時応急医療訓練
- B-2 ライフライン応急復旧訓練
- B-3 給食訓練(陸上自衛隊)
- B-4 救援物資受入訓練(広域拠点)
- B-5 災害対応車両等展示

ヘリポート

- C-1 応援部隊輸送訓練
- C-2 負傷者緊急搬送訓練
- C-3 政府調査団視察訓練

海上(風の塔)

- D-1 要救助者搬送訓練(風の塔)

東側グラウンド

- A-1 広報訓練
- A-2 シェイクアウト訓練
- A-3 負傷者応急救護訓練
- A-4 初期消火訓練
- A-5 情報受伝達訓練
- A-6 高所ビル救出救助訓練
- A-7 道路啓開・緊急交通路確保訓練
- A-8 N B C等特殊災害対応訓練
- A-9 救出救助訓練
(座屈ビル、多重衝突事故、土砂災害)
- A-10 一斉放水

川崎区東扇島

マリエン 会場

川崎マリエン体育館

- E-1 避難所開設訓練
- E-2 避難所医療訓練
- E-3 救援物資受入訓練(市集積場所)
- E-4 避難誘導訓練

川崎マリエン駐車場等

- F-1 みんなで訓練48(各種防災訓練)
- F-2 備える。フェスタ
- F-3 災害ボランティアセンター訓練
- F-4 給食訓練(海上自衛隊)

東公園会場 と マリエン
会場 の間は、訓練開催
時間中、無料のシャトルバ
スを随時運行しています。
ご利用ください。

時間

9月1日(土)

9月6日(木)

東公園 会場

10:00 11:40

※11:45から
閉会式

臨海部事業所 会場

10:05 11:30

病院 会場

10:00 11:30

マリエン 会場

10:00 13:00

多数遺体取扱訓練 会場

13:00 15:00

九都県市合同防災訓練とは…

川崎市を含む九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）では、首都直下地震等の被害を最小限に抑えるため、九都県市相互が、また市民一人ひとりと防災関係機関とが、緊密な連携をとり、一体となって災害に立ち向かうことが重要であるとの考えの下、例年9月1日の「防災の日」を中心とした「防災週間」に、九都県市の連携・協力体制の充実を図るための防災訓練を実施しています。

川崎市は、第39回九都県市合同防災訓練の幹事都市として、国の基幹的広域防災拠点が立地する川崎区東扇島において本訓練を実施いたします。



このマークは東京湾を中心に九都県市相互の協力体制の確立を表現したシンボルマークです。

9月1日は防災の日

8月30日～9月5日は「防災週間」

Q&A



**九都県市の訓練は
いつも東扇島でやるの？**

7都県市の訓練だったころを含め、川崎市が会場となるのは、6回目ですが、東扇島が会場となるのは3回目となります。残りの3回はすべて幸区の新鶴見操車場跡地でした。



**見るだけじゃなくて
実際に色々体験したい！**

マリエン会場では、体験・参加型の訓練を多数用意しています。東公園会場からマリエン会場行きの無料シャトルバスもごございますので、是非ご参加ください。



**川崎区以外でも防災
訓練はやっているの？**

川崎市では、平成29年から、7区でそれぞれ複数回の防災訓練を実施しています。是非、お住まいの区の防災訓練にも参加してください。

注意事項

- 訓練内容は、天候その他の理由により、全体または一部が、予告なく変更・中止になることがあります。
- 会場で配布しております啓発物や、試食品、飲料水などは数量に限りがあります。
- 気分が悪くなった時は、会場内の救護所に行くか、場内の係員にお声がけください。
- 訓練会場周辺は全面禁煙です。お煙草は定まった喫煙所でお願いします。
- ゴミ等は、原則各自でお持ち帰りいただくようお願いします。
- 柵の中は全面立入禁止です。危険かつ訓練の進行の妨げになるため、ご協力をお願いします。
- 想定は、川崎市被害想定等を参考に作成していますが、被害状況や規模等、訓練用の脚色もごございます。
- 当冊子中の写真は、過去の訓練時のものを使用していますので、装備品など実際の訓練と異なります。

東公園会場

東側グラウンド

各防災関係機関などが、発災からのタイムラインに沿って、道路啓開やNBC災害への対応、救出救助など、様々な被災状況の想定のもと行う実動訓練を中心とした会場です。

東扇島東公園



A-1

広報訓練

10:00 - 11:00

本日11:00まで、かわさきFMが防災特別番組「備える。かわさき」を放送します。
今日の訓練も実況中継します。
ラジオをお持ちの方は、周波数を**79.1MHz**に合わせてお聞きください。

A-2

シェイクアウト訓練

10:00 - 10:01

参加者全員が、今いる場所で、安全確保のための行動をとる訓練です。

- ①身を守る姿勢をとる
- ②頭を守る
- ③揺れが収まるまで、この状態でジッと動かない

A-3

負傷者応急救護訓練

10:05 - 10:20

発災直後、消防や警察、自衛隊などの防災機関が現場に到着するまで、地域で協力して負傷者救助に当たります。川崎区の自主防災組織が、災害現場の負傷者を、簡易タンカ、リヤカーなどを使い安全な場所に運びます。また、三角巾やタオルでの止血など、応急救護を行います。聴覚障害者災害対策委員会は、聴覚に障害のある人の通訳として、自主防災組織と協力し負傷者を搬送します。



A-4

初期消火訓練

10:05 - 10:20

火災が発生している現場では、川崎、臨港両地区の消防団を筆頭に、婦人消防隊、消防ボランティア、少年消防クラブ、自主防災組織が協力し合い、消火器やバケツリレーを使用して初期消火を行います。火の勢いの強い場所は、各地域に配備されている「消火ホースキット」を活用し消火活動を実施します。



A-5

情報受伝達訓練

10:01 - 10:25

被災現場に、消防や警察のヘリコプターが向かい、上空から市内の被災情報を収集します。ヘリに搭載した高性能カメラの映像が本部などへ転送されます。（会場モニターでご覧になれます。）

また、民間各機関は各自の特性を活かし、情報収集します。県タクシー協会のタクシーや、日本救難バイク協会とペガサス宮前のオートバイ、隊友会やアマチュア無線情報ネットワークは徒歩で情報を集め、無線等で、市本部等へ報告します。



A-6

高所ビル救出救助訓練

10:20 - 10:50

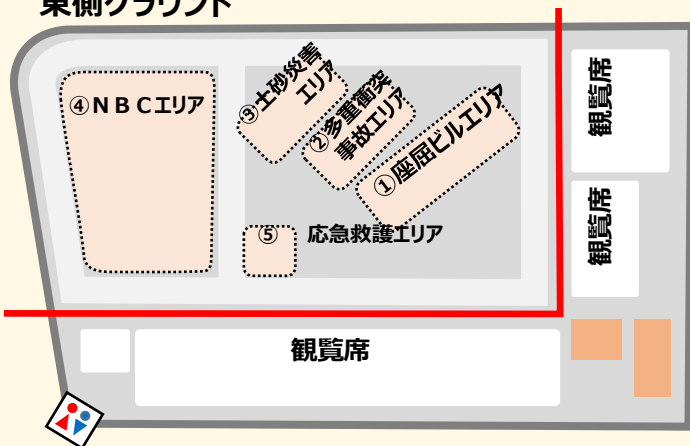
高層ビルに見立てているのは、首都高速道路神奈川管理局が管理する川崎航路トンネル換気塔です。高層ビルに取り残された要救助者を、上空からは川崎市航空隊、千葉市航空隊、陸上自衛隊のヘリコプターが、ホイストと呼ばれる救助用ウインチで、隊員を降下させ、屋上にいる負傷者を救助し吊り上げます。陸上からは、川崎市消防、千葉市消防のはしご車が、途中の階に取り残された負傷者を救助します。



東公園会場

東側グラウンド

東側グラウンド



A-7

10:23 - 10:40

道路啓開・緊急交通路確保訓練

川崎市役所道路公園センターが道路パトロールで、道路上の瓦礫や事故車両を確認し、警察に通報します。道路上の倒木については、自力で撤去作業を開始します。川崎臨港警察署は、緊急交通路を確保するための交通検問所の設置を行います。

要請を受けた、川崎建設業協会「大島・田島特設作業隊」は、直ちに現場に急行し、道路上の障害物を除去し、緊急交通路の確保や災害復旧活動を行います。神奈川建設重機協同組合は、移動式クレーン車を活用し、道路上に放置された車両を撤去し、緊急交通路を確保します。



A-8

10:30 - 11:00

NBC等特殊災害対応訓練

川崎市消防の特殊災害対応隊が、被災した工場に進入し、取り残されている工場の作業員を救出します。また神奈川県警察第一機動隊は、工場敷地手前に除染エリアを設定し、簡易テントの除染所を設営します。救出後は、毒撃物により汚染されている可能性があるため、進入した隊員の除染も行います。

高度工作隊が、大型ブローヤや放水により強制的に環境の改善を行います。

横浜市消防局は、特殊災害対応車を使用し、要救助者の除染を行っています。

陸上自衛隊武器防護隊は、除染車、化学防護車で環境除染を実施します。



NBCとは、核、生物、ケミカルの略で、テロや都市災害を想定した国民保護訓練等で近年様々な訓練が行われています。今回は、化学工場の被災により、塩素が漏洩した想定です。

A-9

10:40 - 11:30

救出救助訓練

道路が啓開され、様々な災害対応車両等が災害現場に向かうことができるようになりました。

座屈ビル群 10:40 - 11:30

3棟並んでいるビルを、東京消防庁、相模原市消防局、陸上自衛隊、航空自衛隊、川崎市消防局、神奈川警察、救助犬訓練士協会の救助犬などが連携し、屋上や地上部分の搜索、救出を行います。



多重衝突事故 10:55 - 11:30

市内幹線道路では、自動車の多重事故が発生し、要救助者が多数発生しています。

川崎市消防局、さいたま市消防局、埼玉県警は、アスタコ（双腕作業車）や車載クレーンなどを使用して、事故車両の移動や障害物の除去を行い、要救助者を救出します。



土砂災害 10:40 - 11:30

急傾斜地が崩壊し、木造一般住宅が土砂に埋没し、内部に要救助者が複数名います。

陸上自衛隊、航空自衛隊、救助犬訓練士協会は、埋没した家屋の搜索、要救助者の救出を行います。



応急救護エリア

現場に駆けつけた神奈川DMAT（帝京大学医学部附属溝口病院）が、現場で救出された要救助者に対する救護活動を実施します。

A-10

11:30 - 11:40

一斉放水

救出救助の現場となっていた座屈ビル群から、余震による火災が発生したため、安全確保のため、各救助隊は一旦救出救助活動を中断し、退避します。火災の鎮火に向け、川崎・臨港消防団が現場に駆け付け、一斉放水により消火を行います。



消防団員の皆さんは、普段はそれぞれに職業を持ち、火災などが発生したときに現場に出動します。また、消火活動だけでなく、住民への指導、巡回広報など火災予防の面でも活躍するなど、地域防災力の要となっています。

東公園会場

西側グラウンド

西側グラウンド

西側グラウンドでは、災害時の応急医療、ライフラインの復旧、救急物資の受入、自衛隊の民生支援等、支援や復旧に向けた一連の訓練を実施します。

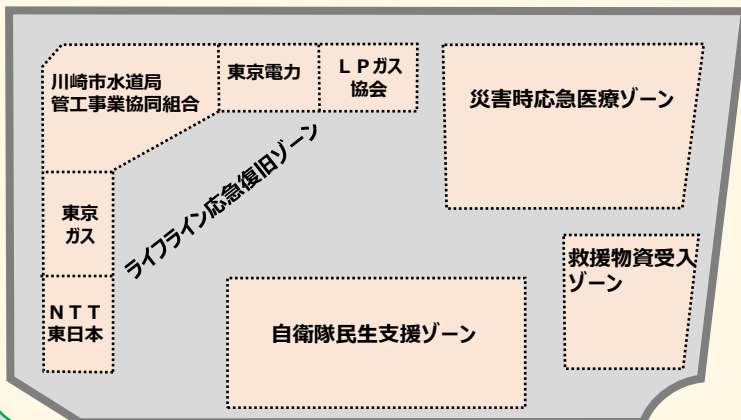
B-1

10:00 - 11:00

災害時 応急医療訓練

川崎DMATの日本医科大学武蔵小杉病院隊、聖マリアンナ医科大学病院隊と日本赤十字社神奈川県支部（横浜市立みなと赤十字病院）及び陸上自衛隊横須賀衛生隊は連携し、現地救護所で、トリアージや安定化処置など一連の救命医療活動を実施します。

傷病者役を演じているのは、綾瀬市にある学校法人湘央学園の学生です。普段の学習内容を活かし、迫真の演技で付与された様々な傷病を表現します。



B-4

11:00 - 11:30

救急物資受入訓練 (広域防災拠点)

東扇島東公園に運搬された救急物資は、国土交通省関東地方整備局首都圏臨海防災センターが、日本埋立浚渫協会関東支部の協力のもと、公園内に設営したテント内に集積されます。

海上自衛隊の護衛艦で運ばれ荷卸しされた救急物資は、川崎港運協会により陸上自衛隊の運搬用車両に積み込まれ、輸送されます。



災害時には国が管理する基幹的広域防災拠点となる東扇島東公園は、陸路、海路、空路からの救急物資物流のコントロール拠点となります。

今回の訓練では、国のプッシュ型支援物資を、海路経由で基幹的広域防災拠点に受け入れます。また、一部の荷物は協定に基づき、神奈川倉庫協会の加盟者倉庫に輸送します。

B-2

10:10 - 11:20

ライフライン 応急復旧訓練

各事業者が、それぞれのブースで復旧のための活動を実施します。

川崎市上下水道局と川崎市管工事業協同組合は、協同で、破損した配水管や給水管の修理を行います。

1回目【10:30 - 11:00】

神奈川県LPガス協会川崎南支部は、二次災害を防ぐための措置として、LPガス容器バルブを閉める等の初期点検を行います。また使用できなくなったガスの配管の仮設復旧作業を行います。

1回目【10:30 - 11:00】

東京ガス神奈川導管ネットワークセンターは、ガスパ이프の損傷箇所に「アダムス・クランプ」という固定金具を用いて、漏れ箇所を覆いかぶせ、ガスの漏れ流出を防いでいます。

1回目【10:10 - 10:30】

2回目【11:00 - 11:20】

NTT東日本神奈川事業部は、オフロードバイクを活用し、電柱など施設の異常の有無を確認するための情報収集を行っています。また、電柱が倒れ、付近一帯の電話回線が不通になったという想定で、衛星通信により特設公衆電話の開設を行います。

1回目【10:10 - 10:30】

2回目【11:00 - 11:20】

東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社は広域停電が発生したという想定で、低圧発電車による応急送電を行っています。並行して、配電用緊急車を活用し、配電設備の異常に対応します。

1回目【10:10 - 10:30】

2回目【11:00 - 11:20】



東公園会場

西側グラウンド

B-3

10:30 - 11:30

給食訓練（陸上自衛隊）

陸上自衛隊第31普通科連隊による給食訓練を行っています。釜を6個搭載した「野外炊具1号」という車両で、一度に400合の炊飯や副菜の調理を行うことができます。本日は避難者向け炊き出しとしてカレーライスを調理しています。調理されたカレーライスの配給は、川崎区赤十字奉仕団の皆さんが担当しています。



10:30～

給食配給テントにおいて、カレーライスの試食の配給をしますので、希望される方は、西側グラウンドの給食訓練スペースまでお越しください。

災害対応車両等展示

B-5

10:00 - 11:30

給食訓練の隣では、陸上自衛隊第1師団第1後方支援連隊の「野外入浴セット2型」による入浴施設や、災害対応用の車両のデモ展示を行っています。



ヘリポート・風の塔（川崎人工島）

C-1

10:55 - 11:00

応援部隊輸送訓練

救出救助の人員が不足しているため、陸上自衛隊東部方面航空隊のUH-1で、応援部隊を輸送します。ヘリコプターで派遣された部隊は、まずは、土砂災害救出救助の現場に向かいます。

C-3

9:35 - 12:59

政府調査団視察訓練

会場北側のヘリポートに、政府調査団のヘリコプターが離発着します。防災関係関係を中心とした政府調査団を輸送するのは、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁のヘリコプターです。政府調査団は、東扇島内の各訓練会場を巡回し、訓練全体の視察を行います。

D-1

10:25 - 11:30

要救助者搬送訓練（風の塔）

アクアライン内で発生した複数台を巻き込む事故による複数の要救助者を搬送します。アクアラインのトンネル内が車両通行不能なため、救出した要救助者は風の塔（川崎人工島）のヘリポートから、ヘリコプター及び船舶を利用して搬送しています。

搬送に当たるのは、川崎市航空隊、陸上自衛隊第1師団第1飛行隊、海上保安庁川崎海上保安署【たまかぜ】です。

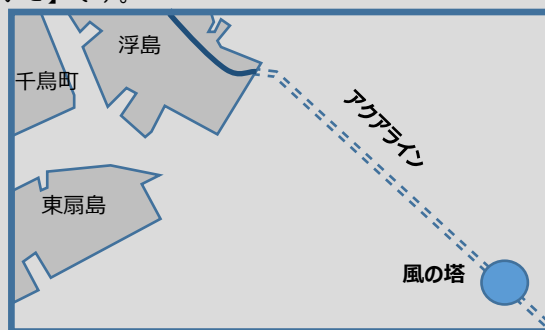


C-2

10:35 - 11:00

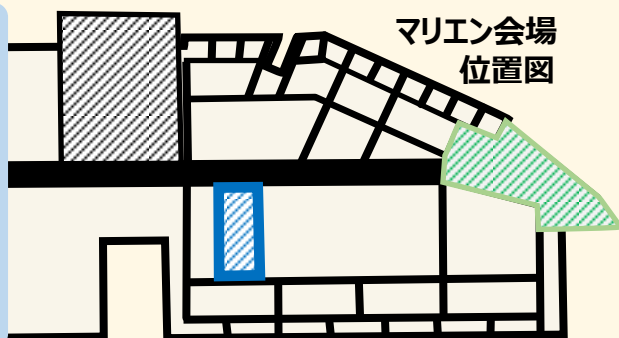
負傷者緊急搬送訓練

災害現場から救出された負傷者を、東海大学医学部付属病院のドクターヘリが搬送します。大規模発災時は、道路の被災も見込まれ、一刻を争う緊急、重篤な傷病者についてはヘリコプターによる搬送が行われます。ヘリポートでは各機関のヘリコプターによる負傷者の搬送が続きます。川崎市航空隊、横浜市航空隊、海上保安庁羽田航空基地、陸上自衛隊第1師団第1飛行隊です。



マリエン会場

マリエン会場では、体育館を使用して、避難所開設、避難所医療の訓練、市の物資集積場所として受入・搬出訓練、避難誘導訓練を行います。
また、駐車場エリアでは、「備える。フェスタ」を実施。
楽しみながら体験し、防災について考えるきっかけとなるようなブースを多数出展します。
さらに、被災現場の様々なニーズと、ボランティアの調整を行う、災害ボランティアセンターの訓練もこの会場で実施します。



E-1

避難所開設訓練

10:00 - 10:30

川崎区の自主防災組織は、2グループ（A班、B班）に分かれ、避難者受付の設置、避難所運営会議本部の設置、レイアウトの設定、資器材等の設置、運営ルール貼り出し、プライベートルームの設置等、避難所の開設に係る一連の作業を実施し、避難所を開設します。



市内で175箇所指定されている避難所ごとに、避難所運営会議が組織され、発災時の避難所開設・運営に備えて、会議や訓練を行っています。

E-3

救援物資受入訓練 (市集積場所)

9:30 - 11:45

埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県の各トラック協会は、各都県市の要請に基づき、市集積場所の一つである、川崎マリエンに緊急物資を搬入します。集積場所では、川崎市港湾局（市災害対策本部港湾部）が、輸送車両の誘導、受入れ、荷降ろし及び在庫管理を実施します。
必要な荷役資機材は日本建設機械レンタル協会神奈川支部に要請し、川崎マリエンに搬入され、荷役作業で活用されます。

神奈川県トラック協会（搬出車両）及び赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川支部は、川崎マリエン集積所の救援物資を南部防災センター避難所へ輸送します。



E-2

避難所医療訓練

10:30 - 11:30

医師会、歯科医師会、看護協会、薬剤師会は連携し、避難者の診察、健康維持・予防対策等を実施します。
川崎区役所の保健師は、避難所情報を集約します。
川崎地区ケア輸送連絡会は、病院への搬送が必要な避難者を車両へ載せ搬送します。
川崎区の自主防災組織は、避難所開設訓練に引き続き、避難者役として、医療訓練に参加します。



E-4

避難誘導訓練

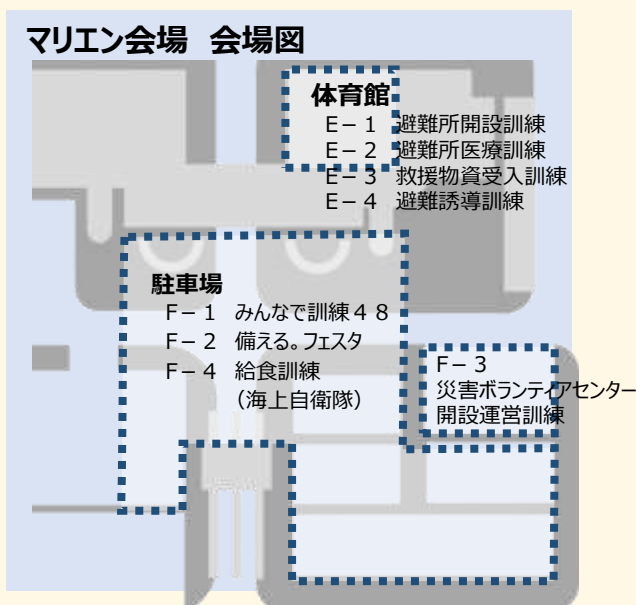
10:00 - 10:30

川崎マリエンの来場している、外国人の施設利用者や観光客を、施設管理者が、安全な場所に誘導します。
その後、通訳ボランティア等の協力を得て、体育館に開設された避難所に移動します。



マリエン会場

マリエン会場 会場図



F-1

10:00 - 13:00

お披露目

みんなで訓練48 (各種防災訓練)

この度、新たに発行する、地域や家庭で、気軽に防災訓練を企画し、実施してもらうためのツール「みんなで訓練48」から、7つの訓練項目をピックアップし、体験型訓練を実施します。

会場で体験できるメニュー

- 身近なもので骨折の手当
- ペットボトルでシャワーづくり
- ダンボールトイレづくり
- ゴミ袋で雨ガッパづくり
- 毛布で担架
- エコノミークラス症候群予防体操
- 無事ですカード



F-2

10:00 - 13:00

備える。フェスタ

誰でも気軽に参加・体験できるコーナーを多数用意した防災啓発イベントです。是非、楽しみながら防災について考えるきっかけとしてください。

- 展示
行政、市民団体、事業者等の防災の取組を紹介
- 災害食グランプリ
災害時の「食」の体験
- 消防体験展示
はしご車乗車や地震体験車、消火ホースキット
- 警察体験展示
交通安全教育車（ゆとり号）や警察車両展示



お披露目

F-3

10:00 - 13:00

災害ボランティアセンター 開設運営訓練

川崎区社会福祉協議会は、市社会福祉協議会、かわさき市民活動センター、市役所らと連携し、災害ボランティアセンターを設置・運営します。災害ボランティアセンターでは、被災現場で顕在化する様々なニーズと参加ボランティアの調整を行います。

訓練では、被災地ニーズの受付、ボランティアの受付、コーディネート、マッチング、送り出し、生活福祉資金貸付相談、SNSや無線を使った情報発信訓練等を実施します。また、事前に募集した市民（ボランティア）を対象に、災害ボランティア体験（仮設用ベッド組み立て、床下の泥出しなど）を実施します。

●特別企画

防災絵本「ダイジシーンからのおねがい」読み聞かせ会

この度、作成した防災絵本を、保育園・幼稚園等への配布に先立ち、マリエン会場で制作スタッフによる読み聞かせ会を開催します。



F-4

11:00 -

給食訓練 (海上自衛隊)

海上自衛隊横須賀基地業務隊の民生支援の一環として、避難者向けの炊き出しを行います。メニューは「海と山の恵みカレー」です。調理されたカレーライスの配給は、川崎区赤十字奉仕団の皆さんが担当します。

臨海部事業所会場

非公開

訓練関係者以外は
見学出来ません。

G-1

10:05 - 11:15

海上避難訓練 (防災浮き桟橋)

工場従業員、見学に訪れていた中学生などが、川崎市港湾局所有の防災浮き桟橋を使い、海上保安庁川崎海上保安署の【たまかぜ】、川崎市港湾局の【あおぞら】で、避難します。



G-2

10:20 - 10:21

情報収集訓練

神奈川県警察航空隊のヘリがコンビナート地区の上空から情報収集を行います。また、神奈川県警察横浜水上警察署は警戒船【しょうなん】により海上から情報収集を行います。

G-3

10:21 - 10:27

海上訓練

桟橋の配管が損傷し、可燃性の液体が海面へ流出しています。

川崎海上共同防災協議会の【つるぎ】はオイルフェンスを展開し、漏洩した液体の拡散を防いでいます。

また、海上保安庁【しおかぜ】

【はまぐも】、東京消防庁【おおえど】、横浜市消防局【よこはま】、川崎市消防局【第6川崎丸】の各船舶が、一斉に海面放水し、油の拡散を行います。



G-4

10:21 - 10:27

事業所内消火訓練

コンビナート地区の火災については、公設消防の到着前に各企業自衛防災隊、地区ごとの共同防災協議会が消火にあたります。

大規模な火災については、川崎市消防局に加え、緊急消防援助隊として、他都県市の消防隊が応援に駆けつけます。

今回のタンク火災の消火には、東亜石油自衛防災隊、扇島共同防災協議会、川崎市（消防局）、東京消防庁の各消防隊が、2点セットと呼ばれる、大型化学高所放水車と泡原液搬送車のセットで消火にあたります。

さらに、横浜市（消防局）は自走式大容量放水装置【ドラゴンハイパー】を投入し、一斉放水で消火活動にあたります。



G-5

10:27 - 11:30

負傷者応急搬送訓練

工場内の負傷者を、JFEスチール自衛防災隊の救急車が、日本鋼管病院まで搬送します。



病院会場

非公開

訓練関係者以外は
見学出来ません。

H-1

10:00 - 11:30

災害時病院対応訓練

市立川崎病院を中心に、災害時病院対応訓練を実施します。

神奈川DMA Tは、市立井田病院隊が市立川崎病院へ、市立多摩病院隊が保健医療調整本部へ、横浜市東部病院隊が日本鋼管病院へ、それぞれ支援チームとして派遣されました。

また川崎区内各病院は、広域災害救急医療システム（EMIS）等を活用し、病院間における情報共有や調整を行います。

市立川崎病院（川崎区新川通）の訓練を中心に、病院間の連携や、燃料供給など、災害時初期における医療機関の初動体制を検証します。



H-2

10:00 - 11:30

病院間負傷者搬送訓練

①災害現場（東公園）から負傷者をヘリにより空路で搬送します。

横浜市消防局は井田病院へ、川崎市消防局は多摩病院へそれぞれ搬送します。

②傷病者の収容キャパシティを超えた区内病院（日本鋼管病院）は、川崎市保健医療調整本部を通じ、他の受け入れ先病院を要請します。市内救急車等が災害対応で全台出動しているため、受け入れ先となった市立川崎病院への搬送は陸上自衛隊が行います。陸上自衛隊は、車両2台を使用し、市立看護短期大学の学生が扮する多数の患者をピストンで搬送します。

H-3

10:30 - 11:30

災害時石油供給訓練

市災害対策本部の要請を受けた政府緊急対策本部は、石油連盟へ重要施設である市立川崎病院に、自家発電燃料の緊急配送を実施します。

搬送用車両は、陸上自衛隊のタンクローリーです。指定の民間製油所（JXTGエネルギー株式会社川崎製油所）から、燃料（重油）を荷受けし、適合するアタッチメントを使用して、燃料の荷下ろし・給油を行います。



多数遺体取扱訓練会場

9月6日(木)

に実施

I-1

13:00 - 15:00

多数遺体取扱訓練



遺体の搬送から、受付や所持金品の確認、記録。警察官による検視、医師による検案。歯科医師や警察官による身元確認。遺体の洗浄・縫合・消毒。

葬祭業の指導による、納棺、安置。関係書類の記録・引継・整理保管。遺体の確認、所持金品の返却、検案書の交付、遺族対応など、遺体安置所には、多岐にわたる業務・手順があります。

医師会・警察をはじめ、各機関の説明・実演を受けながら、実際に手順のひとつひとつを確認する訓練です。

会場となる「カルッツかわさき」（川崎区富士見）は、平成29年10月にオープンしたスポーツと文化の複合施設です。川崎市地域防災計画で、各区のスポーツセンター等とともに、遺体安置所の設置が想定されている施設のひとつです。



第39回九都県市合同防災訓練 参加機関一覧（順不同）

住民組織

川崎市自主防災組織連絡協議会
川崎市赤十字奉仕団
川崎消防団
川崎地区婦人消防隊委員会
川崎消防ボランティア委員会
川崎地区少年消防クラブ
臨港消防団
臨港地区婦人消防隊委員会
臨港消防ボランティア委員会
臨港地区少年消防クラブ

指定公共機関

東日本高速道路株式会社関東支社
首都高速道路株式会社神奈川管理局
株式会社NTT東日本神奈川事業部
東京ガス株式会社
神奈川導管ネットワークセンター
東京ガス株式会社川崎支店
JXTGエネルギー株式会社川崎製油所
東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社
KDDI株式会社
日本赤十字社神奈川県支部

指定地方公共機関

公益財団法人川崎市医師会
公益社団法人川崎市歯科医師会
一般社団法人川崎市薬剤師会
公益社団法人川崎市看護協会
一般社団法人埼玉県トラック協会
一般社団法人千葉県トラック協会
一般社団法人東京都トラック協会
一般社団法人神奈川県トラック協会
神奈川県LPガス協会川崎南支部

事業者等

JFEスチール株式会社
イツ・コミュニケーションズ株式会社
エリーパワー株式会社
セレモニアグループ有限会社佐野商店
学校法人湘央学園
株式会社 スカイロボット
株式会社 理経
株式会社サンナイオートメーション
株式会社ジーエーティー
住友商事株式会社
エレクトロニクス第一部電子材第一チーム
川崎葬祭具協同組合
東亜石油株式会社
東芝エネルギーシステムズ株式会社
東洋埠頭株式会社東扇島支店
平和会ベトナムメモリアルパーク

ご参加いただいた皆さん

7区の自主防災組織の皆さん
7区の消防団、消防関連団体の皆さん
こども防災塾に参加してくれた皆さん
その他
すべての訓練にご参加いただいた皆さん

その他の公共的団体や

ボランティア団体等

一般社団法人川崎建設業協会
神奈川建設重機協同組合
一般社団法人日本建設機械レンタル協会神奈川支部
Child×Allergy×Trip
NPO法人ナルク川崎
NPO法人救助犬訓練士協会
NPO法人日本救難バイク協会
STEP CAMP（新しい防災袋）
TAMAGAWA CAMP実行委員会
川崎市男女共同参画センター（すくらむ21）
かわさき市民放送株式会社
ベガサス宮前
ベットとぼうさい
一般財団法人移動無線センター
一般社団法人日本埋立浚渫協会
一般社団法人助けあいジャパン
一般社団法人神奈川県タクシー協会川崎支部
公益財団法人かわさき市民活動センター
公益財団法人川崎港振興協会
公益財団法人川崎市国際交流協会
公益社団法人神奈川県柔道整復師会川崎支部連合会
公益社団法人隊友会川崎支部
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
神奈川災害ボランティアネットワーク
神奈川倉庫協会（川崎港）
溝の口減災ガールズ
震災対策コミュニティ研究会
赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川県支部
川崎海上共同防災協議会
川崎港運協会
川崎災害ボランティアネットワーク会議
川崎市アマチュア無線情報ネットワーク
川崎市管工事業協同組合
川崎市獣医師会
川崎市消防設備協同組合
川崎市聴覚障害者災害対策委員会
川崎地区ケア輸送連絡会
扇島共同防災協議会
防災ジオラマ推進ネットワーク
一般社団法人地域社会支援ネットワーク神奈川

医療機関

神奈川DMAT（市立井田病院）
神奈川DMAT（市立多摩病院）
神奈川DMAT（横浜市東部病院）
神奈川DMAT（帝京大学医学部附属帝京溝口病院）
川崎DMAT（聖マリアンナ医科大学病院）
川崎DMAT（日本医科大学武蔵小杉病院）
AOI国際病院
第一病院
日本鋼管病院
宮川病院
川崎協同病院
総合新川橋病院
総合川崎臨港病院
太田総合病院
東海大学医学部付属病院
市立川崎病院
市立井田病院
市立多摩病院

国・指定地方行政機関

内閣府（防災担当）
関東管区警察局
総務省関東総合通信局
経済産業省関東経済産業局
国土交通省関東地方整備局
海上保安庁
防衛省南関東防衛局
政府調査団

自衛隊

陸上自衛隊
海上自衛隊
航空自衛隊
自衛隊神奈川地方協力本部

警察

埼玉県警察
神奈川県警察

緊急消防援助隊

東京消防庁
横浜市消防局
千葉市消防局
さいたま市消防局
相模原市消防局

協定自治体等

関西広域連合
花巻市

九都県市自治体

埼玉県
千葉県
東京都
神奈川県
横浜市
千葉市
さいたま市
相模原市

川崎市

川崎市看護短期大学
川崎市立大師小学校
川崎市立田島中学校
川崎市

第39回九都県市合同

防災訓練